



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月2日

上場取引所 東

上場会社名 マックスバリュ東海 株式会社

コード番号 8198 URL <http://www.mv-tokai.com/company/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神尾 啓治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 浅倉 智

TEL 055-989-5050

四半期報告書提出予定日 平成25年10月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	100,795	—	930	—	951	—	395	—
25年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 488百万円 (—%) 25年2月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	22.26	22.23
25年2月期第2四半期	—	—

(注) 平成26年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年2月期第2四半期	69,917	—	40,181	—	57.1	—
25年2月期	59,905	—	39,716	—	65.9	—

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 39,941百万円 25年2月期 39,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	36.00	36.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	212,390	26.6	3,800	7.6	3,710	2.0	1,600	1.9	90.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	17,883,300 株	25年2月期	17,494,500 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	118,128 株	25年2月期	118,078 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	17,765,119 株	25年2月期2Q	17,365,432 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。なお、平成25年2月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による積極的な経済政策や日銀による金融緩和を背景に、企業収益の改善や一部個人消費の持ち直しの動きが見られたものの、海外景気の下ぶれ懸念等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品スーパーマーケット業界におきましては、お客さまの生活必需品に対する低価格志向が続くとともに、消費増税に対する懸念から家計節約の動きはより一層高まりを見せております。また、業種・業態を越えての競争は激しさを増しており、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループは、お客さまの豊かな食生活の実現に貢献しつつ、常に成長し続ける企業を目指して、2013年3月1日付にてイオンキミサワ株式会社との経営統合を行いました。この統合を機に両社の強みを生かしつつ、地域に密着した店舗の実現を図るべく、「『融和』そして『変革』 創り上げよう！新生マックスバリュ東海 お客さまと従業員に愛される店づくり」をスローガンに掲げ、経営統合の早期軌道化と事業の再構築を推進する一方、統合シナジーの具現化を目指してまいります。

(国内事業)

店舗展開におきましては、イオンキミサワ株式会社との経営統合により23店舗が増加したことに加え、イオンエブリ株式会社から6店舗を譲受け、順次開店しました。また、4月には、マックスバリュプライムマークイズ静岡店(静岡市葵区)を開設するとともに、山梨県甲府市の旧マックスバリュ2店舗を業態転換し、5月には、ザ・ビッグ甲府長松寺店(山梨県甲府市)、6月には、ザ・ビッグ甲府住吉店(山梨県甲府市)として開設しました。これらにより、国内事業における店舗数は、ザ・ビッグ12店舗を含めて131店舗となりました。

販売面におきましては、お客さまの中食需要や簡単・便利な食材への要望の高まりに対応すべく、惣菜を始めとして、フローズン(冷凍食品)・レディーミール(調理済食品)の品揃えの充実に努めるとともに、売場・商品展開の見直しとクリンリネスを目的とした店舗の改装活性化を計12店舗で実施しました。更にイオンキミサワ株式会社との統合シナジー実現に向け、23店舗の売場・商品展開の見直しを進めるとともに、商品調達、本部機能の一体化、販促展開の共通化による経費削減にも取り組んでおります。また、お客さまのライフスタイルの変化に対応したサービス事業の拡充を図るべく、昨年10月に熱海地区でスタートした「ネットスーパー」の展開エリアを、6月には御殿場地区にも拡大しその取り組みの強化を図っております。

(中国事業)

中国広東省広州市において、2013年1月に中国1号店となるマックスバリュ太陽新天地店を開設いたしました。火曜日を集客日として販売強化に努めており、売上高は堅調に推移しておりますが、売上総利益率の確保に課題があるため、商品原価の引下げと売価変更管理等の対策を徹底するなど、多店舗化に向けたビジネスモデルの早期確立に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益1,007億95百万円、営業利益9億30百万円、経常利益9億51百万円、四半期純利益3億95百万円となりました。なお、2014年2月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(ご参考)

個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2014年2月期第2四半期	100,407	20.7	1,167	△16.9	1,192	△15.1	588	54.7
2013年2月期第2四半期	83,191	1.7	1,406	△42.7	1,405	△42.4	380	△49.2

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比し100億11百万円増加し、699億17百万円になりました。これは、合併による固定資産43億38百万円の受入れや、店舗数増加などに伴い商品が11億21百万円増加したことのほか、関係会社預け金が19億40百万円増加したことなどによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比し95億47百万円増加し、297億36百万円になりました。これは、合併による固定負債14億53百万円の引受けや、店舗数増加などに伴い買掛金が51億31百万円増加したことなどによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比し4億64百万円増加し、401億81百万円になりました。これは、合併による資本金の増加1億円及び資本剰余金の増加4億89百万円、四半期純利益の計上3億95百万円、為替換算調整勘定の増加1億4百万円、剰余金の配当6億25百万円などによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比し16億27百万円増加し、これに2013年3月1日におけるイオンキミサワ株式会社との合併による受入高4億2百万円を加えた結果110億20百万円になりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、54億12百万円になりました。これは税金等調整前四半期純利益5億59百万円、減価償却費15億68百万円、仕入債務の増加26億81百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、26億69百万円になりました。これは有形固定資産の取得による支出24億33百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、12億29百万円になりました。これは、配当金の支払額6億25百万円、合併により受け入れた短期借入金の返済による支出4億50百万円などによるものであります。

なお、2014年2月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行なっておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2014年2月期の通期の業績予想につきましては、2013年4月9日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,375,450	6,457,928
売掛金	44,929	94,336
商品	3,181,255	4,302,518
繰延税金資産	475,043	605,811
関係会社預け金	2,500,000	4,440,000
その他	3,773,171	5,213,151
流動資産合計	16,349,850	21,113,745
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,936,436	18,940,579
土地	10,876,184	12,658,736
その他(純額)	5,352,277	5,985,056
有形固定資産合計	34,164,899	37,584,372
無形固定資産		
のれん	1,261,233	1,173,898
その他	233,401	266,732
無形固定資産合計	1,494,635	1,440,630
投資その他の資産		
差入保証金	3,584,938	4,910,851
繰延税金資産	3,089,675	3,386,941
その他	1,269,652	1,529,045
貸倒引当金	△47,938	△47,938
投資その他の資産合計	7,896,328	9,778,900
固定資産合計	43,555,862	48,803,903
資産合計	59,905,713	69,917,649
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,640,065	14,771,888
1年内返済予定の長期借入金	—	258,796
未払法人税等	91,722	333,780
賞与引当金	470,327	766,178
役員業績報酬引当金	10,097	5,922
店舗閉鎖損失引当金	6,688	12,194
その他	3,304,902	5,820,044
流動負債合計	13,523,803	21,968,805
固定負債		
長期借入金	—	529,678
退職給付引当金	4,054,589	4,030,786
商品券回収損失引当金	18,848	14,550
資産除去債務	1,226,442	1,335,645
その他	1,365,843	1,857,135
固定負債合計	6,665,723	7,767,795
負債合計	20,189,526	29,736,600

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2013年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,167,850	2,267,850
資本剰余金	2,893,374	3,382,405
利益剰余金	34,470,988	34,240,917
自己株式	△138,728	△138,810
株主資本合計	39,393,484	39,752,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,766	85,134
為替換算調整勘定	—	104,348
その他の包括利益累計額合計	73,766	189,483
新株予約権	20,136	32,619
少数株主持分	228,800	206,583
純資産合計	39,716,186	40,181,048
負債純資産合計	59,905,713	69,917,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2013年 3 月 1 日 至 2013年 8 月 31 日)
売上高	99,042,856
売上原価	74,569,012
売上総利益	24,473,843
その他の営業収入	1,752,585
営業総利益	26,226,429
販売費及び一般管理費	25,296,152
営業利益	930,276
営業外収益	
受取利息	18,685
受取配当金	1,951
還付加算金	15,571
雑収入	41,258
営業外収益合計	77,467
営業外費用	
支払利息	36,004
雑損失	20,656
営業外費用合計	56,660
経常利益	951,083
特別利益	
固定資産売却益	5,039
特別利益合計	5,039
特別損失	
固定資産除却損	47,806
減損損失	166,908
中途解約金	146,978
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,506
その他	29,619
特別損失合計	396,818
税金等調整前四半期純利益	559,303
法人税、住民税及び事業税	243,342
法人税等調整額	△31,214
法人税等合計	212,128
少数株主損益調整前四半期純利益	347,175
少数株主損失 (△)	△48,304
四半期純利益	395,479

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	347,175
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	11,368
為替換算調整勘定	130,435
その他の包括利益合計	141,804
四半期包括利益	488,980
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	511,196
少数株主に係る四半期包括利益	△22,216

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 2013年3月1日
 至 2013年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	559,303
減価償却費	1,568,760
減損損失	166,908
のれん償却額	95,176
賞与引当金の増減額 (△は減少)	181,725
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	△7,935
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△23,802
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	5,506
商品券回収損失引当金の増減額 (△は減少)	△8,063
受取利息及び受取配当金	△20,637
支払利息	36,004
固定資産売却損益 (△は益)	△5,039
固定資産除却損	47,806
中途解約金	146,978
売上債権の増減額 (△は増加)	△48,190
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△279,977
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,681,544
その他	119,094
小計	5,215,162
利息及び配当金の受取額	20,350
利息の支払額	△35,501
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	212,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,412,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,433,469
有形固定資産の売却による収入	68,925
無形固定資産の取得による支出	△59,655
敷金及び保証金の差入による支出	△108,805
敷金及び保証金の回収による収入	130,675
事業譲受による支出	△40,058
その他	△227,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,669,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△450,000
長期借入金の返済による支出	△129,398
リース債務の返済による支出	△24,187
自己株式の取得による支出	△258
配当金の支払額	△625,551
その他	192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,229,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	114,096
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,627,405
現金及び現金同等物の期首残高	8,990,719
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	402,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,020,304

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2013年3月1日付にて、当社を存続会社、イオンキミサワ株式会社を消滅会社とする吸収合併をいたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が100,000千円、資本剰余金が489,014千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,267,850千円、資本剰余金が3,382,405千円となっております。